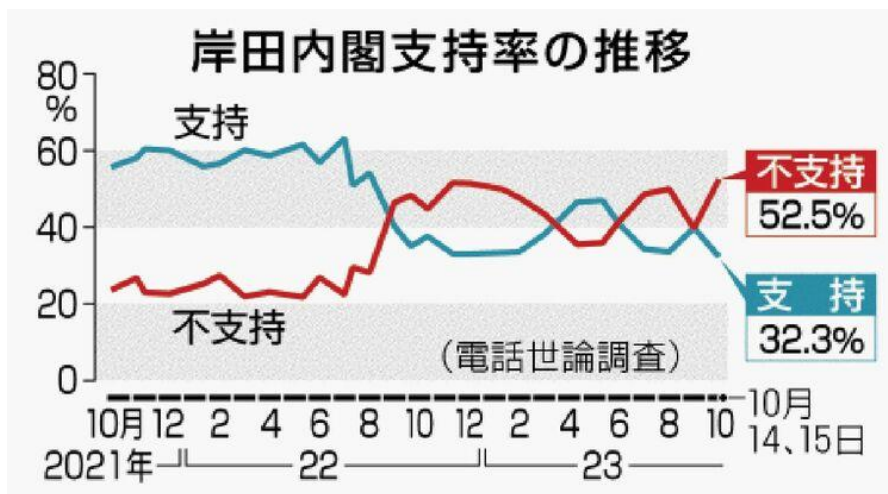


【寺子屋・小山台】

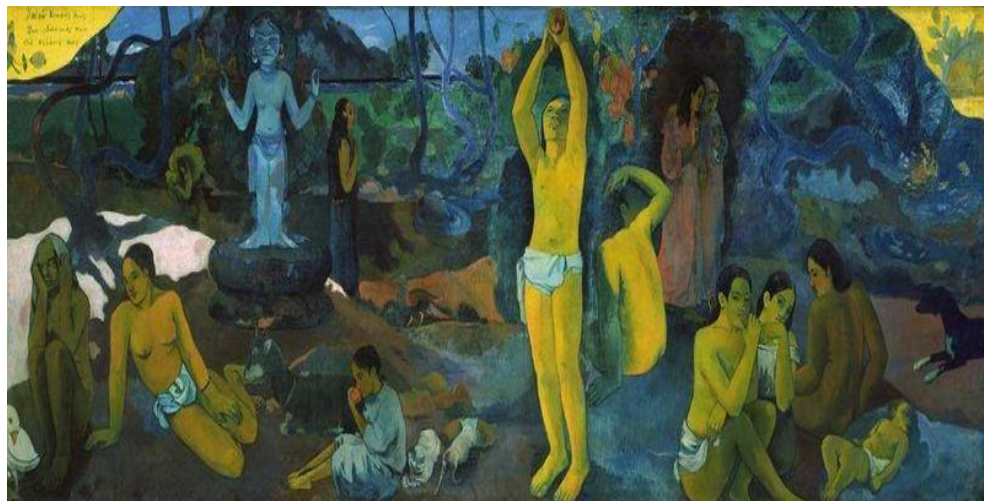
2023年10月28日

◎日本政治の課題と民主政治の在り方

【岸田政権の評価と課題】



なぜ支持率が下落？ 就任2年で再び「民主主義の危機」に？

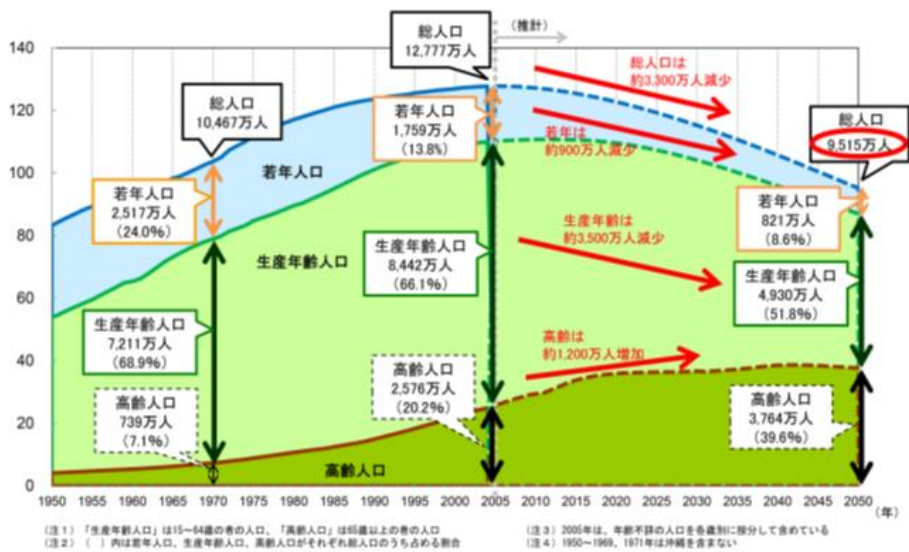


フランスの画家ゴーギャン（1848～1903）
「我々はどこから来たのか。我々は何者か。我々はどこへ行くのか」（1897年）

【国内の政治課題＝急速に進む少子高齢化】

▽戦後の人口急増から減少へ

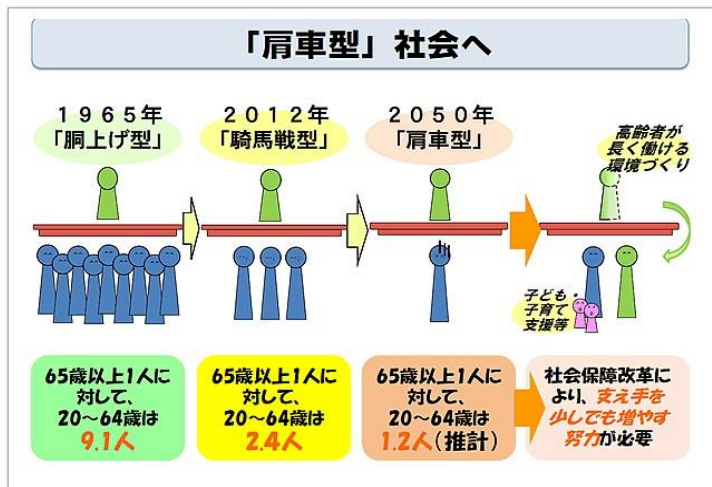
- ▶ 2004年、1億2784万人がピーク
 - ▶ 合計特殊出生率 2023年1・26
(1947年4・54)
 - ▶ 2022年の出生数79万人（初めて80万人割れ）
- ▽今後100年で100年前（明治後半）の水準に戻る



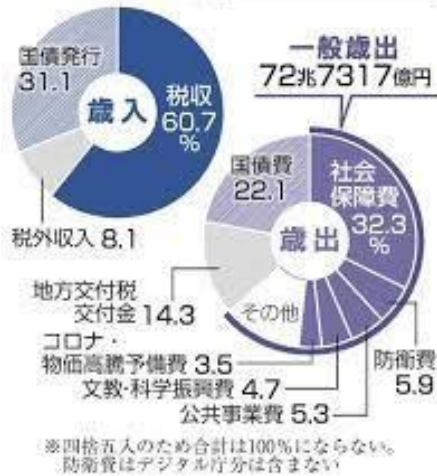
▽持続可能な社会が維持できるか

- ▶ 社会保障制度、財政

【図-1】「肩車型」社会へ



2023年度
一般会計 114兆3812億円



▽財政再建＝「出」を抑え「入」を増やす

▽歳出をどう抑制するか

- ・ 社会保障費か防衛費か、公共事業か

▽歳入をどう増やすのか

・ 税制の在り方＝①所得税（高所得者への課税、金融取引課税）、②消費税
率引き上げ、③法人税率の引き上げ

▽岸田首相は所得税減税の検討を指示

【国際的な課題＝グローバル化と分断】

(1) グローバル化

(2) 分断、自国優先主義 ⇒紛争、他国への侵攻

▽戦後の東西冷戦

▽西側＝民主主義・資本主義 ⇒米国、英国、日本など

▽東側＝共産主義・社会主義 ⇒旧ソ連、中国など

⇒1989年・東西冷戦終結

・フランシス・フクヤマ（米政治学者）

「民主主義と自由経済が最終的に勝利し、今後は社会の安定と平和が維持される」（邦訳「歴史の終わり」三笠書房）

- ▶ 1996年、サミュエル・ハンチントン「文明の衝突」(邦訳・集英社)
「言語、歴史、宗教、生活習慣、社会制度などの文明化と文明化の衝突が対立の軸になる」
- ▶ 「重し」を失い秩序が流動化する国際社会

▽中国はどう動くか

- ▶ 大国化する中国
 - ▶ 経済＝2040年までに米国を抜いて世界1位に？
 - ▶ 軍事＝海洋進出(東・南シナ海、尖閣諸島)

▽日本の課題

(1) 安全保障政策

- ▶ 対中国、ロシア、北朝鮮の情勢
- ▶ 防衛費を大幅増額し、敵基地攻撃能力を保有
 - ⇒ 軍備拡張は地域の緊張を高める
- ▶ 憲法9条は「制約」か

(2) 対中外交戦略

- ▶ 日本は米国と同盟関係にあるが、中国とも経済的に深い関係にある
 - ⇒ 外交の戦略が問われる

【民主政治の課題】

(1) 議会は国民を代表しているか

⇒ 議会の構成と選挙制度

(2) 代表(権力、政府)はどうふるまうべきか⇒民主主義と説明(応答)責任

(3) どうやって「決定」するのか

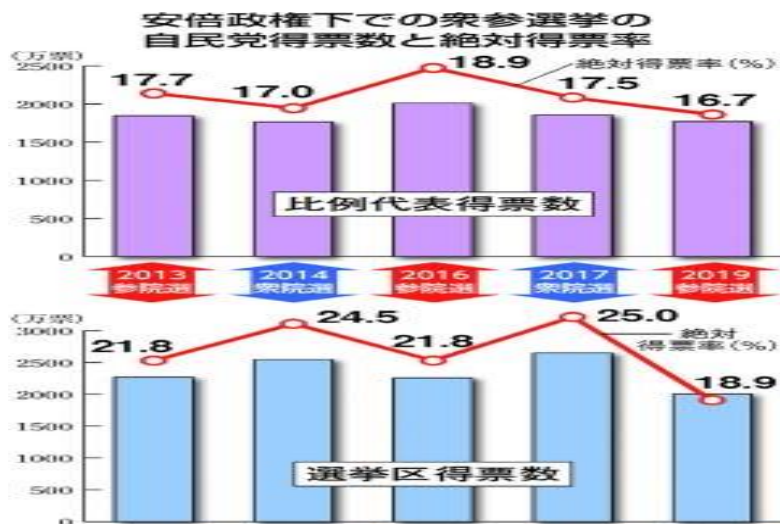
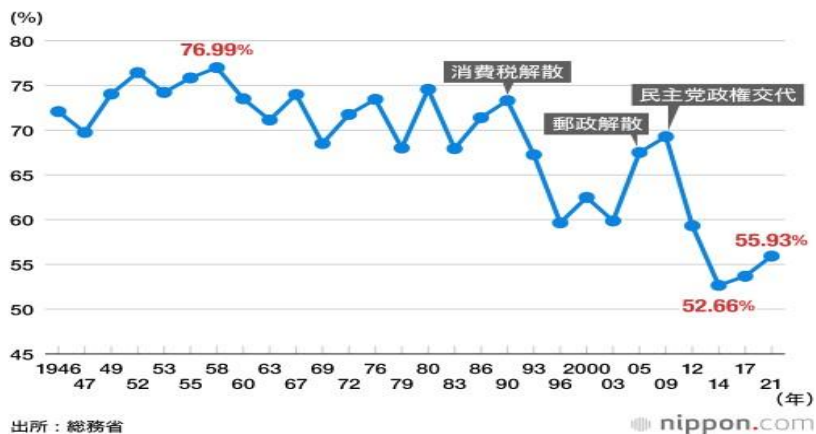
⇒ 多数決の是非

(4) 「多数者の専制」＝少数意見をどうやってくみ取るのか

⇒ 国会、野党の存在意義

▶低下する投票率

衆院選の投票率の推移



▽2021年衆院当選者

- ▶女性45人（9・7%）
- ▶平均年齢 55・5歳 17年衆院選 54・7歳）
- ▶高齢・男性中心の議会→政策の優先順位はどうか

◎「あれもこれも」はできない

- ☛どの選択肢を選び、優先順位を付けて実行するのか。複数の政策の中から選択しなければならない。（了）